

# THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



なごや  
ちくさ  
WEEKLY

名古屋千種ロータリークラブ  
承認 1982年 8月24日  
例会日 火曜日 12:30  
例会場 愛知厚生年金会館  
事務局 〒464 千種区池下一丁目4番18号  
井上ビル4F D号  
Tel 763-5110  
会長 竹内真三

No. 46

みんなにロータリーを —— みんなに奉仕を  
Share Rotary —— Serve People

1983-84年度RI会長 ウィリアムE. スケルトン

## 第90回例会 昭和59年5月29日(火)曇

### ◇“我等の生業”

#### ◇出席報告

会員 53(54)名 出席 41名  
出席率 81.13%  
前 回 5月22日(修正出席率)96.23%

#### make up

青山君(5/23和合), 浜口君(5/28中), 原君(5/24瑞穂), 堀江君(5/26守山), 加藤(敏)君(5/24瑞穂), 宮尾君(5/24瑞穂), 大谷君(5/18北), 尾関君(5/25北), 笹野君(5/28中), 鈴木(正)君(5/21空港), 鈴木(敏)君(5/17東南), 手島君(5/19守山)

#### ◇ビジター紹介 6名

#### ◇誕生日祝福

原君(5/28), 浅井君(6/1), 黒須君(6/1), 小林夫人(6/4)

#### ◇ニコボックス

東RC余語特別代表(長らく御無沙汰しました)水野(民)君(今月のゴルフ会でブービーをとり感激にたえず), 竹内君(永らく御心配かけましたが5/25・8:20 a.m., 尿管結石無事に出産しました。是以上結石の出来ぬ事を願って。御希望の方には現物お見せします), 加藤(大)君(ゴルフ会で初めて優勝させて頂きました)武内君(中京TV・ブリジストンレディスオープンがお蔭様で無事終了しました), 成田君(社会奉仕委員長会議に出席させて頂きました), 久保田君(瑞穂の加藤さん, 昨日はお世話になりました。今後とも宜しくお願い致します), 加藤(正)ホームクラブ欠席しました), 堀場君(6期連続で名古屋市獣医師会会長に選任されまして, また御迷惑をおかけ致しました), 大谷君(本日のスピーカーを紹介させて頂きました), 原君(誕生祝), 浅井君(誕生祝), 黒須君(誕生祝), 小林君(夫人誕生祝), 加藤(敏)君(結婚記念祝)

#### ◇三輪幹事報告

1. 本日例会終了後, 理事役員会を行いますので理事役員の方は2F橋の間にお集り下さい。

2. ロータリーの友5月号が届いておりますのでお持ち帰り下さい。

#### ◇成田次期社会奉仕委員長報告

本日は菊池委員長が欠席ですので, 代理として次期委員長の立場より報告いたします。

去る5月24日, 市内RC社会奉仕委員長会議に私も出席いたしました。合同事業は今年度1人あたり3,000円で行ってまいりましたが次年度は未定でございます。当クラブは今年度約72万円で活動いたしましたので, 次年度はニコより財源を増やしてより多く活動する所存ですので御協力をお願いします。

又, 桜の木寄贈により名古屋市長から, 中国残留孤児援護基金により高木理事長から各々感謝状を頂きましたのでここに御披露いたします。

#### ◇竹内会長挨拶

Tabu という少々くせのあるオーデコロンがあります。戦後の日本では色々なタブーといひますか御禁制が取り払われて「言論は自由」, 「思想も自由」, 「結社も自由」色々な事柄が万事自由となって殆んどタブーはなくなりまして。

然し残っております数少ないタブーの中で最大は『大衆を批判する』事でしょう。この『大衆を批判』する事は, 法律, 慣習的にも禁じられているわけではありませんが, 今日程『大衆』という言葉が幅をきかず時代はありませんし, 言論にしてもそうで知識人と称する人々も自己の本心とは別に大衆の意向を察知してものをいう空気が強い様に私には感じられます。そしてこの『大衆の意見, 空気』というものは中々曲者で殆んど人は容易に大衆の名で語り行動するわけです。一体『大衆』という具象化されたものがあるのでしょうか。昔, 自由, 博愛, 平等のスローガンのもと大衆運動のお手本の様なフランス革命のもたらしたものは(こう短絡に申し上げてよいかどうか)ギロチンでした。

第2次大戦後にスペインのオルテガという人が「大衆の反逆」という本を出して大衆批判をしました。その中で『大衆とは自己懐疑を持たない人々』が大衆であると定義しています。つまり仮りに総理大臣であれ大学総長であれ企業の経営者であれ、疑いの心を持たないで何かをやっているとすればその人達の『精神的内容は矢張り大衆』という事になります。現代は産業第一主義の時代でその結果は物質的幸福であります。従って高度成長は幸福の象徴であり低成長は不幸、不安の始まりとなります。又民主主義と称して人々の間の平等を主張いたします。只今国会で問題になっています“男女の雇用平等法案”の如きもよくよく考えてみますと奇怪な事柄が多うございます。

Rtnは或る意味で各職域の代表選手の様なものです。お互いに夫々のスペシャリティを生かし合いながら何が本物かといった自己懐疑を見失わぬ様にしたいものです。それこそが『知識人』といえましょう。

自己懐疑といえば最近私は例えば4 way test についても

1. 真実かどうかと問われれば（何が真実なんだろう）と問い
2. 皆に公平かと問われれば（公平とか平等とは何をいうか）と問い
3. 好意と友情を深めるかと問われれば（そうした善意をいつまでもち得るか）と問い返し
4. 皆のためになるかどうかと問われれば（皆のためと称して自分のためを考えては居らぬか）と自己批判を投げかけています。

R.Iの方からお叱りを頂戴するかもしれませんが一度位は批判と分析をする必要があります。その上で猶R.Cとしては額面通りに遂行する他にない事行当ります。

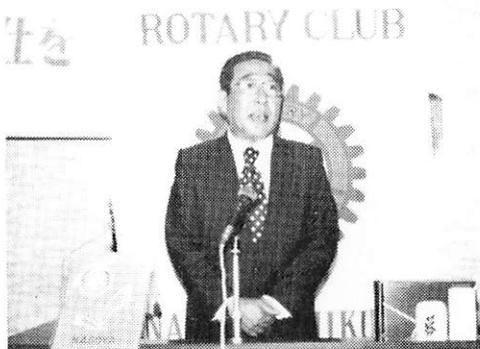
昨年度のIGFでのyouismは、日本流に申せば「お蔭様で」の精神でしょう私同様に皆様の中にも頼まれて止むなくしたんだというお気持の方がいるかも知れませんがRtnになった以上千種RCあればこそRhnとしての今日の私があると虚心に内面の転換をして頂きたいものであります。『自己懐疑』から転じて『素直なるRtnへ』と申し上げて終りにします。

#### ◆講演

##### “音楽の楽しみ”

愛知県立芸大 音楽学部長 石井 敬 氏  
（紹介 大谷君）

私は、32年前にドイツのミュンヘン国立音楽大学で作曲を勉強しました。この頃は今の立派な駅の辺りもぼこぼこで、日本人は私一人でしたが、現在は800人から1000人位がいるそうです。その後、1年に1度位は外国へ出かけます。私は音楽家ですから話の糸口として、すべての方が音楽のことを話されま



す。「モーツァルトの音楽はすばらしい。」などと。大体自分の国の作曲家の話です。アメリカに行けば、「アーロン・コブランはすばらしい。」といひます。ソ連でミコヤンさんとお会いしたとき、「世界で一番演奏会数の多い作曲家は誰か」と尋ねられ、私は、ベートーベンだろうと思ったのですが、「チャイコフスキー、つぎにプロコフィエフだ。」というのです。二人ともソ連の作曲家です。日本では、半分位の人が、「私は音楽はだめでね」といひます。そのくせカラオケなどで歌っています。これは歌舞音曲を軽くみた名残でしょう。これからは外国の人と話し合うときは、日本の作曲家のことで話すがよいと思います。

しかし、日本の音楽事情も随分変わってきました。その一つに「お母さんコーラス」というのがあります。全国で百万人位のお母さんが暇をみつけてコーラスをやっています。昔は音楽は音楽、生活は生活で、音楽の「オ」の字を知らなくても何ら関係がありませんでしたが、音楽というものがお母さん方を通じて家庭の中に入ってきて世の中が少しずつ変わってまいります。

私は、作曲家としてはどちらかという硬派に属しておりますが、お母さんコーラスが愛知県芸術選奨文化賞を貰われたときに「少女のいる画集」という優しい女声合唱曲を作りました。本日はこの中から「五月の娘よ」を聞いていただきます。お嫁さんにそろそろいかせる頃の娘さんに対するお母さんの気持をうたったものです。歌っているのはフラウエンコーア東海というアマチュアです。120人位で、なかなかうまうたっています。

（文責 大谷）

#### ◆次回例会（6月5日）

講演 “ロータリーへの私の考え方”

森 泰樹 Pastor. ガバナー

（紹介 竹内君）

#### ◆次々回例会（6月12日）

講演 “イ・イ戦争について”

中日新聞 社会部記者 坂井 克彦氏

（紹介 三輪君）